

催吐リスク PTX(tri-weekly)

原不 (PTX200+CBDCA5)d1/c21d

薬剤名	投与経路	投与量	希釈液	点滴時間(分)	投与日(day)
パロノセトロン	注射	0.75 mg			1
クロルフェニラミンマレイン酸塩	注射	5 mg			1
ファモチジン	注射	20 mg			1
デキサメタゾン	注射	16.5 mg	生食	100 mL	30
パクリタキセル	200	mg/m ²	5%糖液	250 mL	180
カルボプラチン	5	AUC	5%糖液	250 mL	60
				mL	
				mL	
				mL	

内服薬

デキサメタゾン 8mg 分2 朝昼食後 day2,3

投与基準等

Ⅱ. 投与基準 (例:白血球 $\geq 2000/\text{mm}^3$ 、好中球 $\geq 1000/\text{mm}^3$)好中球 $> 1,500/\mu\text{l}$ 血小板 $> 100,000/\mu\text{l}$.血清クレアチニン $< 1.5 \times$ institutional upper limit normal (ULN)ビリルビン $< 1.5 \times$ ULNGOT and alkaline phosphatase $< 2.5 \times$ ULN

Ⅲ. 減量基準 (例: Grade3 以上の好中球減少時、次回より投与量を80%に減量)

非血液毒性 Grade 3 以上、もしくは好中球減少 Grade 4、血小板減少 $<50000/\mu\text{l}$ となったとき、パクリタキセルを $175\text{ mg}/\text{m}^2 \rightarrow 135\text{ mg}/\text{m}^2$ に、カルボプラチンを AUC5 \rightarrow 4 に減量

Ⅳ. 重大な副作用 (例: 好中球減少 Grade3 以上37.5%)

好中球減少症 Grade 3 以上 14%

血小板減少症 grade 3 以上 5%

貧血 Grade 3 以上 9%

筋痛 Grade 3 以上 14%

神経障害 Grade3 以上 5%

感染症 Grade3 以上 9%

悪心 Grade3 以上 5%

添付参考資料(文献・ガイドライン・治験計画書・研究計画書)

Am J Clin Oncol 2005; 28: 152-156